

# 2022年5月期 第2四半期 決算説明資料

2022年1月



## 1. 会社概要

## 2. 2022年5月期第2四半期 決算概要

## 3. 業績予想

## 4. 開発の状況

## 5. 参考資料

# 会社概要



会社名	室町ケミカル株式会社 (MUROMACHI CHEMICALS INC.)
代表者	代表取締役社長 青木 淳一
設立	1947年7月 (創立：1917年1月)
資本金	143,172千円
従業員	195名 (2021年5月末現在)

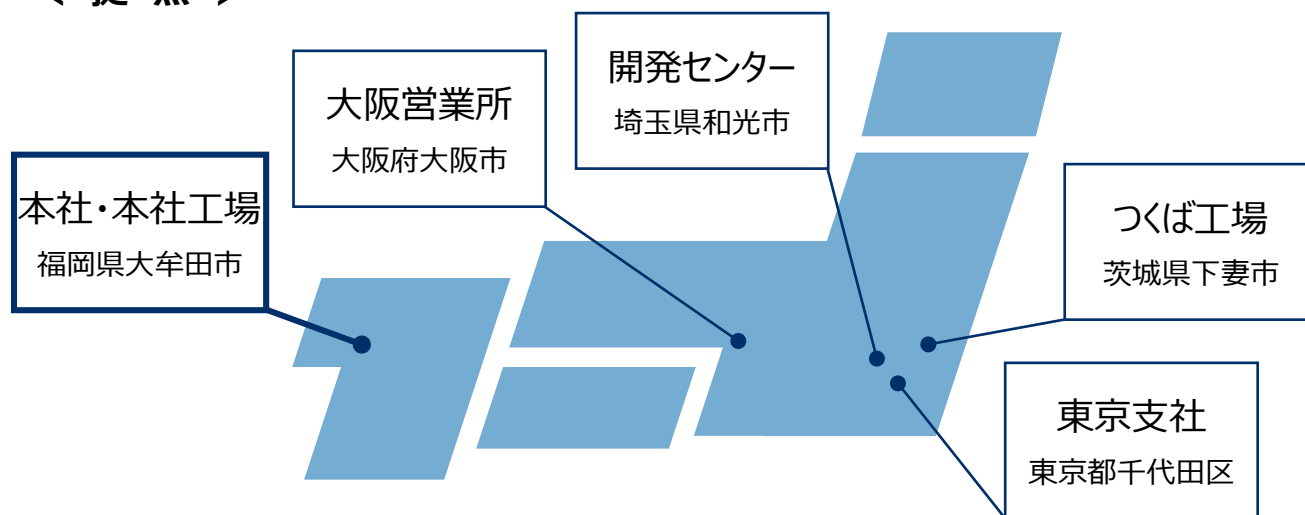


創立当時 (1917年頃)



大牟田市 本社工場

## < 拠点 >



## 「医薬品」「健康食品」「化学品」の3事業

### 医薬品事業

医薬品原薬（薬の有効成分）の  
製造・販売



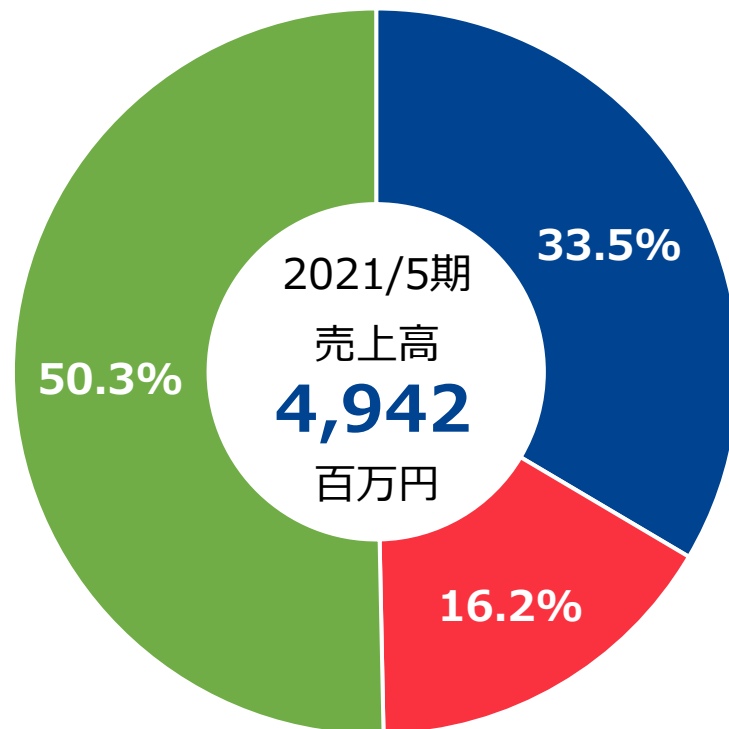
原薬の製造



原薬の精製・異物除去



海外原薬の輸入販売



### 化学品事業

液体から不純物を取り除く  
液体処理製品の販売・加工



イオン交換樹脂



分離膜



水処理装置



イオン交換樹脂再生設備

### 健康食品事業

スティックゼリータイプなどの  
健康食品の企画・製造



スティックゼリー



Tパウチゼリー



## 長年培った技術を活かし、お客様の事業をサポートします。

### 医薬品 事業

#### メーカー機能と商社機能を併せ持ち、原薬に関わる様々なサービスを提供

品質と価格を満たす原薬を調達できる「商社機能」と医薬品製造の「メーカー機能」を併せ持ち、輸入・製造・加工・分析とトータルサービスを提供します。

### 健康食品 事業

#### 高度なマスキング技術で、求める“おいしさ”を具現化

健康・美容成分には食べづらい味や匂いのもありますが、それらを包み隠す「マスキング技術」で、食べる健康食品にとって重要な「おいしさ」を追求しています。

### 化学品 事業

#### 特殊な用途にも対応できる技術で液体処理の課題を解決

排水の処理や薬品の精製など、案件によってカスタマイズが必要な特殊な用途でも、豊富な製品ラインナップと培ってきたノウハウで、最適な製品や処理方法をご提案します。

## 医薬品事業

- 輸入原薬の横展開によるシェア拡大
- 受託加工・開発案件の獲得

## 健康食品事業

- 新包装形態『Tパウチ・ショット』
- 原料メーカーや機械・包材メーカーとの協業（新規案件の獲得、提案製品の開発）

## 化学品事業

- 海外イオン交換樹脂メーカーとの共同開発  
（特殊用途に対応した製品開発、既存製品の代替品供給）
- 成長が見込まれる半導体関連やエネルギー関連への拡販を強化

# 2022年5月期第2四半期 決算概要



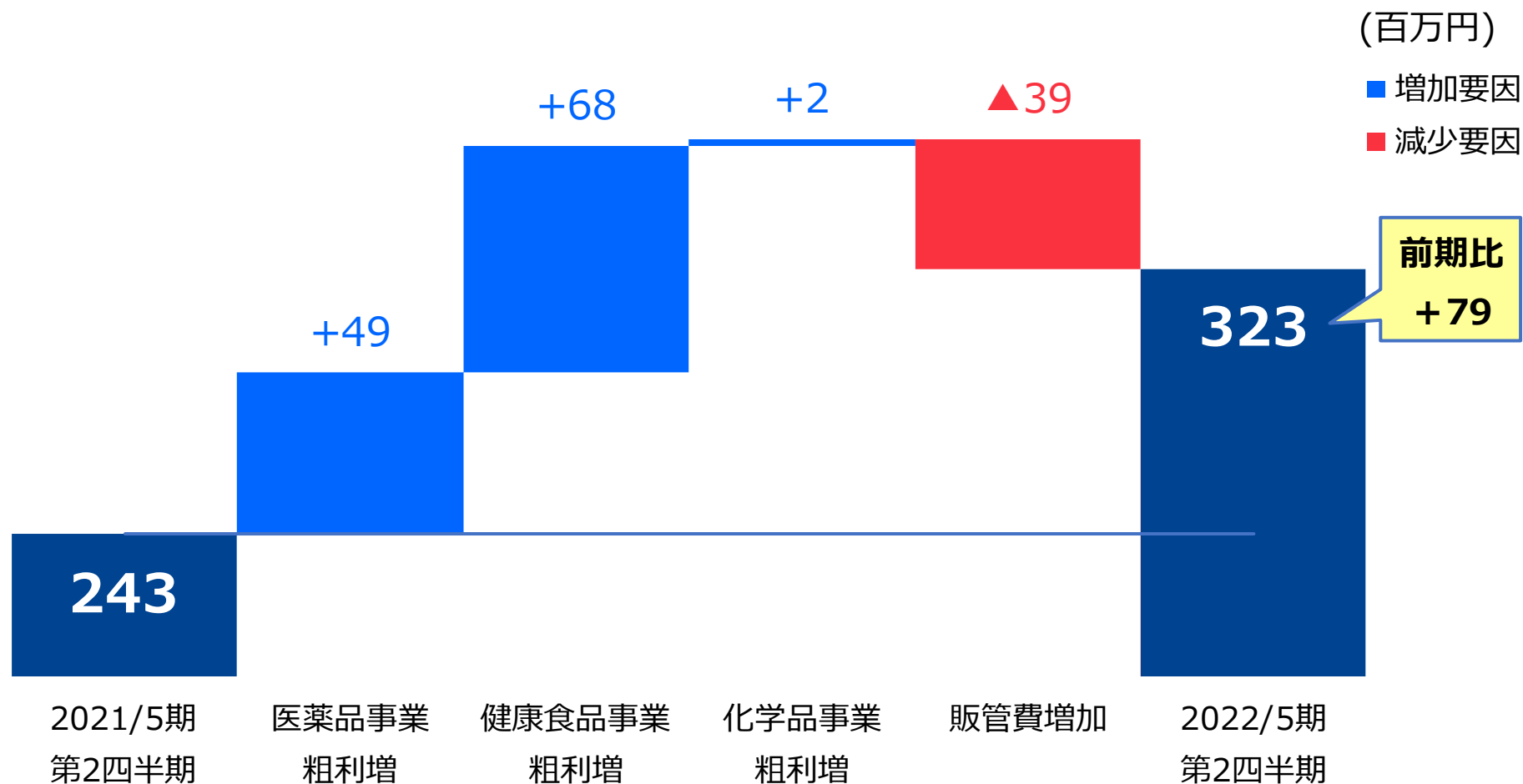


- 医薬品・健康食品・化学品 全ての事業で新規案件の獲得が順調に進み、増収増益を達成
- 販売費及び一般管理費については、前期比で増加しているものの、当初計画通りで推移

(百万円)

	2021/5期 第2四半期		2022/5期 第2四半期		前年同期比	
		構成比		構成比		増減率
売上高	2,482	100.0%	<b>2,807</b>	100.0%	325	13.1%
売上原価	1,646	66.3%	<b>1,852</b>	66.0%	206	12.5%
売上総利益	836	33.7%	<b>955</b>	34.0%	119	14.2%
販売費及び一般管理費	592	23.9%	<b>631</b>	22.5%	39	6.7%
営業利益	243	9.8%	<b>323</b>	11.5%	79	32.7%
経常利益	219	8.8%	<b>323</b>	11.5%	104	47.4%
当期純利益	75	3.0%	<b>261</b>	9.3%	186	246.2%

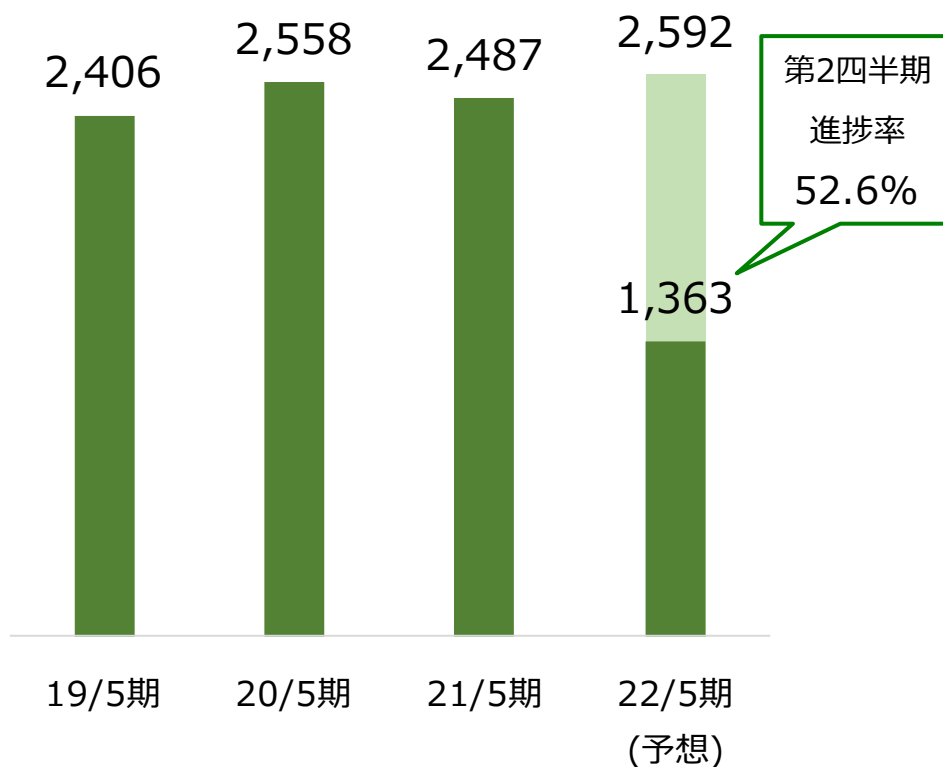
- 各事業の売上増加による売上総利益増加により、営業利益は増加
- 販管費の増加は人材採用に伴う費用などによるもの



**売上高** (前年同期比)  
**1,363百万円** (107.1%)

**営業利益** (前年同期比)  
**278百万円** (103.0%)

■ 売上高 (単位：百万円)

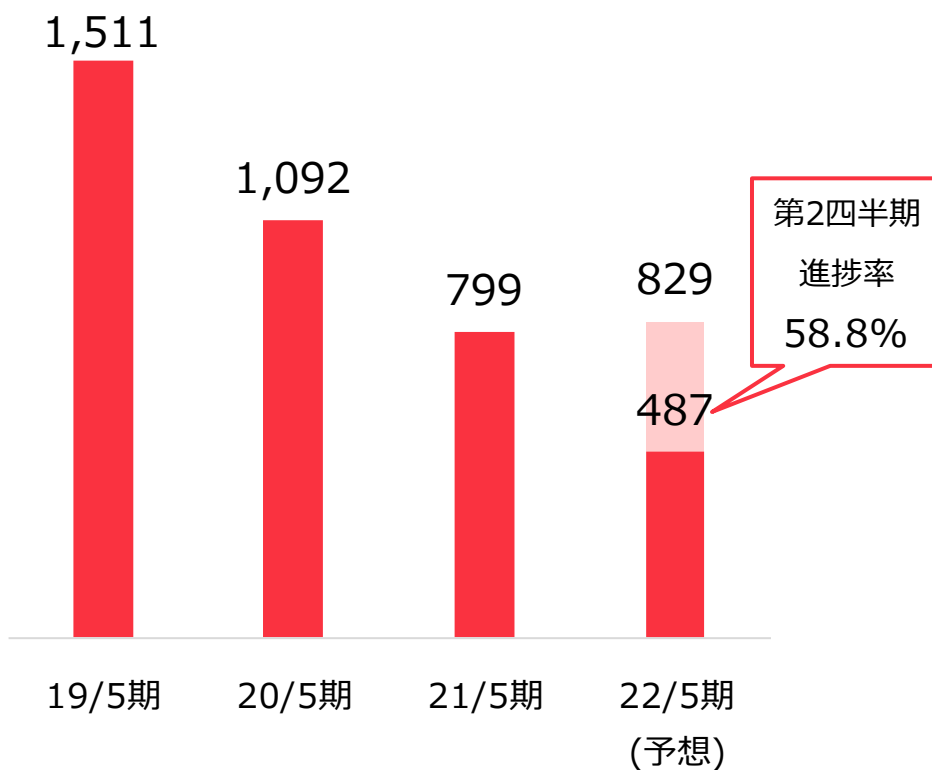


- 主要製商品である高カリウム血症改善剤向け原薬や抗てんかん剤向け原薬の売上が堅調に推移
- 受託加工や少量合成の新規案件獲得が想定より前倒しで進捗
- 前期に需要が増加したラジオアイソトープは例年並みの状況に落ち着く

**売上高** (前年同期比)  
**487百万円** (128.0%)

**営業利益** (前年同期比)  
**40百万円** (-)

■ 売上高 (単位: 百万円)

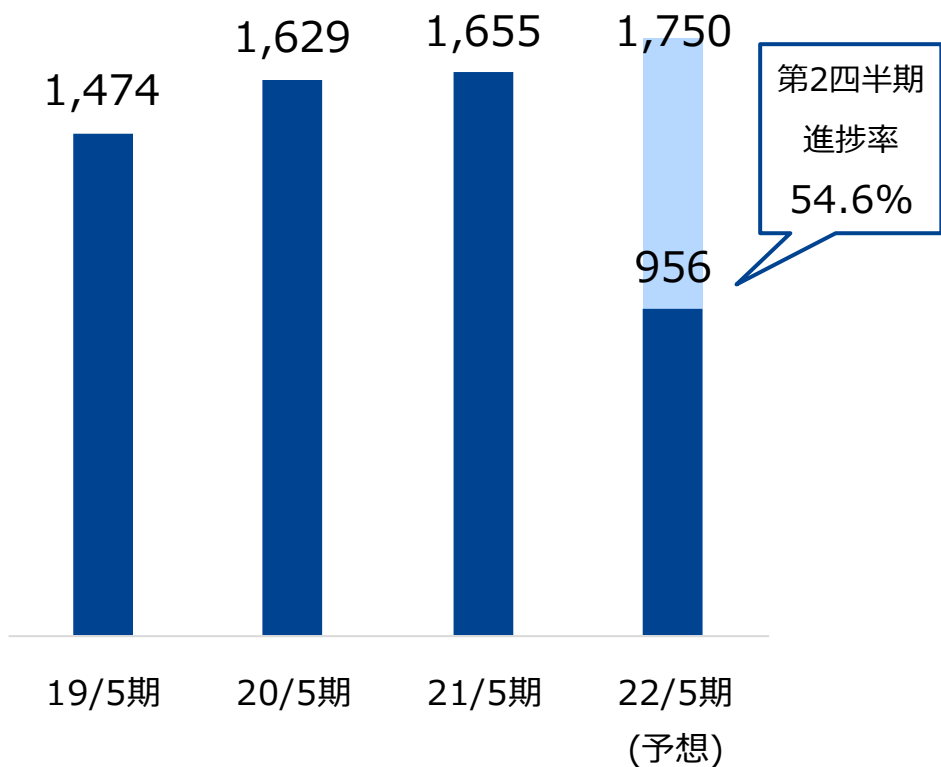


- 引き続き、通信販売を行う取引先への売上が好調
- その他のOEMゼリーや自社製品についても概ね想定通りに推移
- 売上増加により営業黒字に転換 (前年同期は営業損失40百万円)

**売上高** (前年同期比)  
**956百万円** (115.5%)

**営業利益** (前年同期比)  
**4百万円** (33.9%)

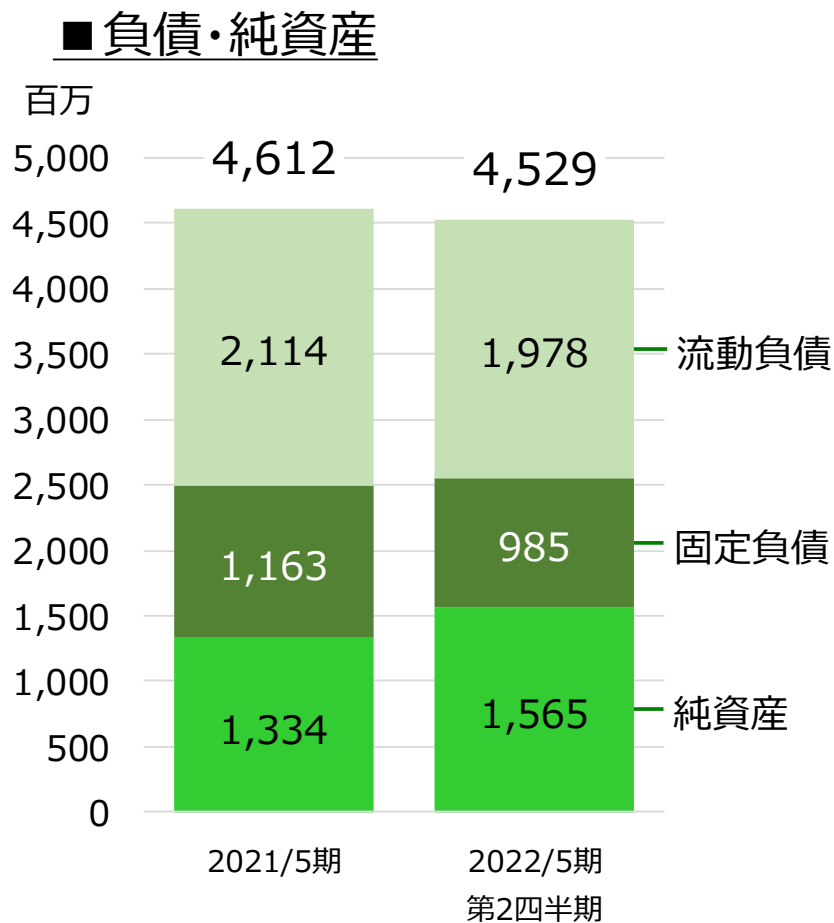
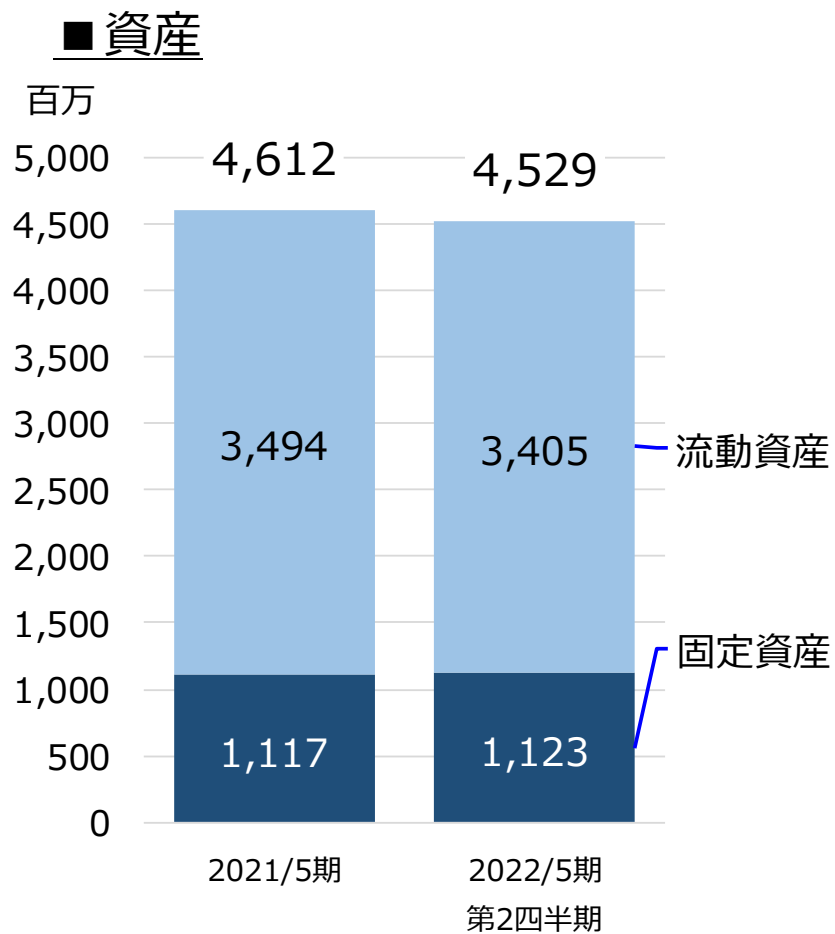
■ 売上高 (単位：百万円)



- 大型装置案件の受注やイオン交換樹脂販売の新規大口顧客獲得によって売上が増加
- 前期好調だった半導体製造・医薬品製造向けの製品については需要が沈静化
- 自社加工品と比べて利益率の低い仕入商品の割合が増加したことで、売上は増加したものの利益率は低下

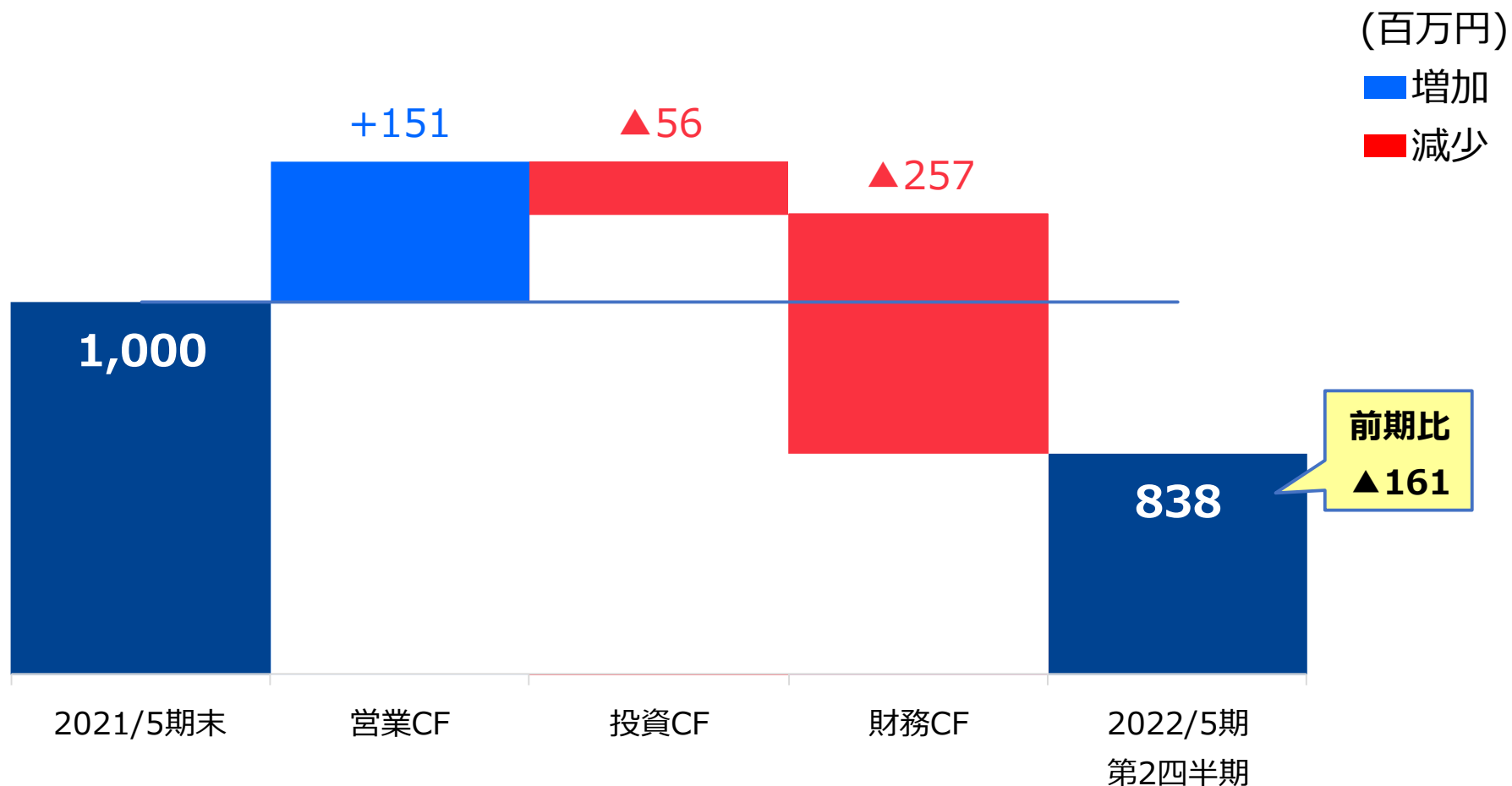


- 借入金の返済によって流動負債及び固定負債を圧縮
- 上記負債の圧縮と当期利益計上によって自己資本比率が改善



**自己資本比率 : 34.6% (前期末比 +5.6pt)**

- 当期利益計上によって営業CFが増加し、借入金の返済によって財務CFが減少



# 業績予想



- 通期業績予想は据え置き
- 今後の業績拡大に向けた人材採用、販売活動や研究開発活動への積極投資や、昨今の原材料価格高騰や為替、物流等の状況における不確定部分を考慮

	2022年5月期 通期
業績予想の修正	無
売上高	5,172百万円
営業利益	403百万円
経常利益	381百万円
当期純利益	332百万円
配当金	19.0円
配当性向	20.92%

# 開発の状況





## 中期的な主な開発案件

案件テーマ	想定される売上規模（年間）	販売開始想定時期
小児用治療薬向け粉碎加工	100～200百万円	2024年5月期
医療用添加剤の製造	20～50百万円	2024年5月期
原薬原料の製造	20～50百万円	2024年5月期
動物用原薬の製造	100～200百万円	2025年5月期

## 新薬向けの合成案件の獲得（長期的な取り組み）

＜製薬メーカーの新薬開発フロー＞（平均所要期間）



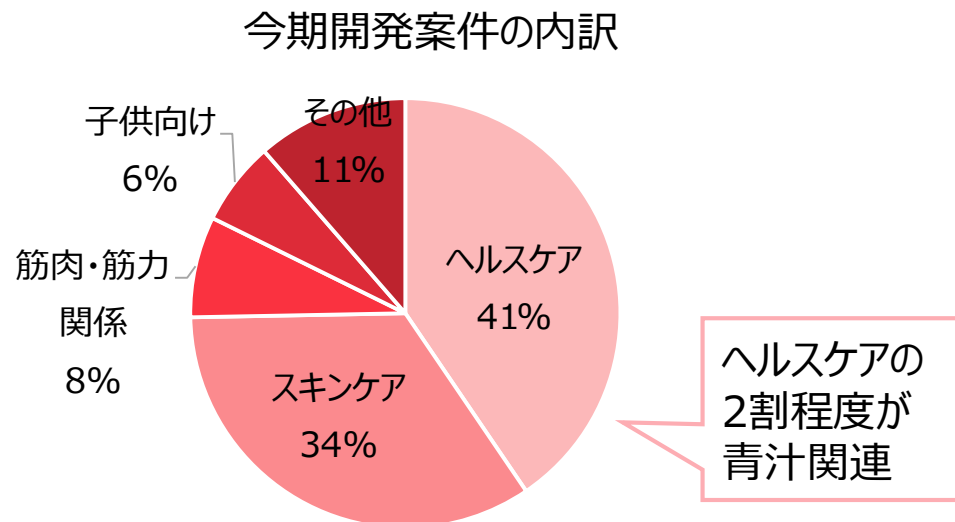
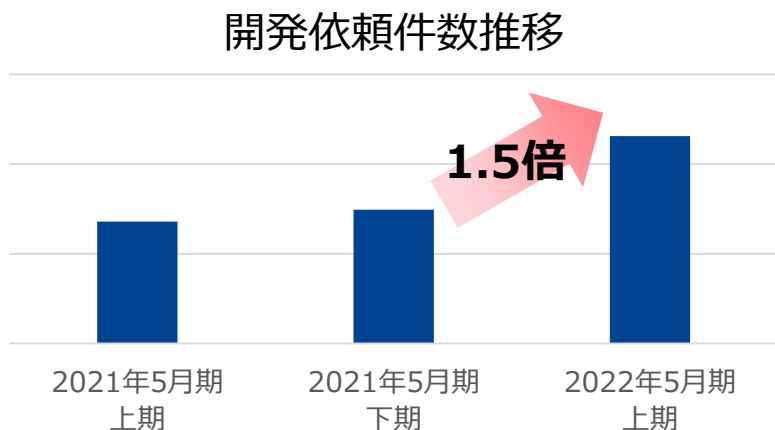
＜今期受注実績＞

**10件**

原薬合成：2件

原薬合成：3件  
不純物標品合成：5件

## 半期の開発依頼件数は1.5倍に増加、コロナ禍の生活様式に合わせた提案品の案件も

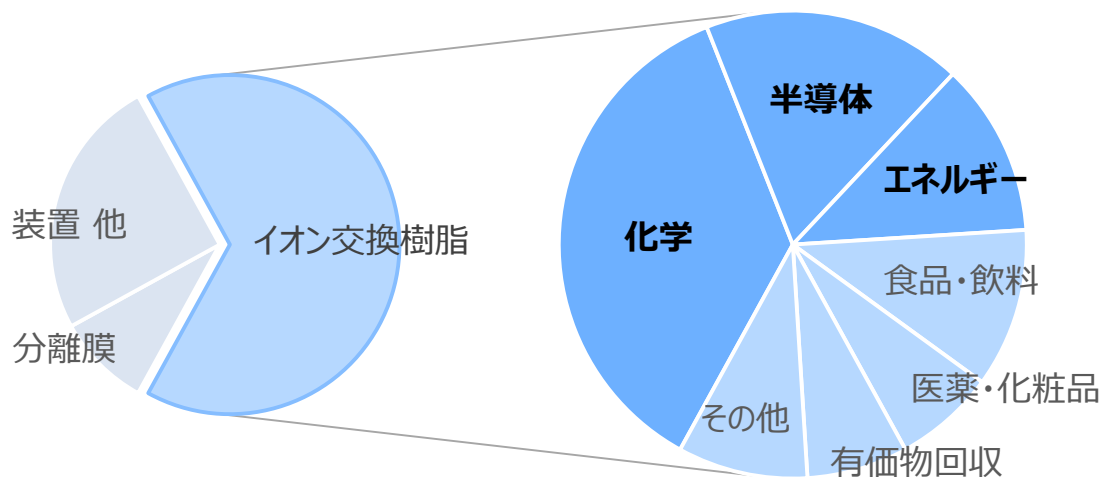


## 成長期待分野の課題クリアに向け技術力を強化

- ・ヘルスケア、筋肉・筋力関係の高齢者向け製品
  - ・子供向けに脳機能及び体づくりの製品
- 高齢者、子供向けの製品設計（味、食感、充填量）や配合原料選定を強化
- 筋肉・筋力関係製品に配合される、アミノ酸やプロテインの原料高配合技術の確立

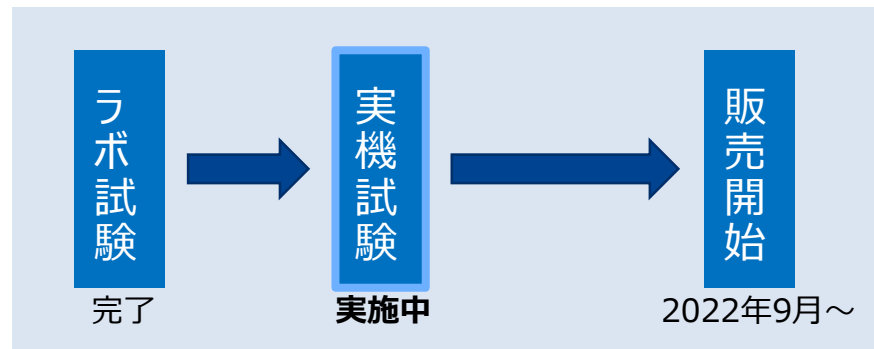
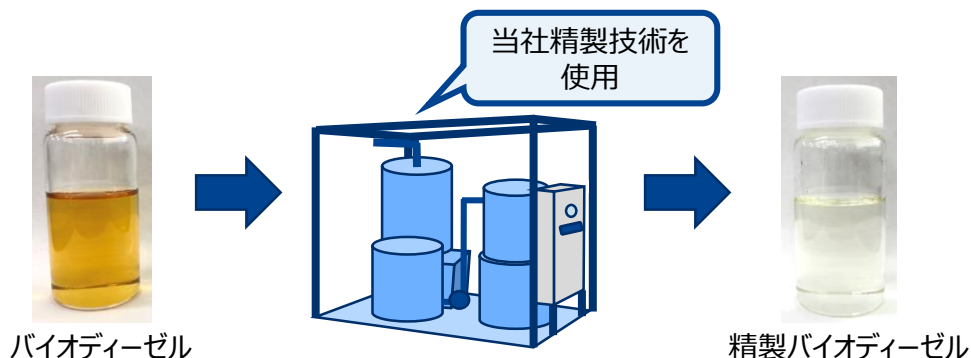
## 開発案件の7割がイオン交換樹脂関連、テーマに応じ共同開発を進める

今期開発案件の内訳



分野	主なテーマ
化学	原料・中間製品の精製
半導体	超純水・薬品の高純度化
エネルギー	発電所、水素/燃料電池

## バイオディーゼル精製装置の開発は順調に進捗





<https://www.muro-chem.co.jp/>

本資料に関するお問い合わせ先  
室町ケミカル株式会社 経営企画室  
TEL : 0944-41-2131  
FAX : 0944-41-2133

### ＜本資料取扱上の注意点＞

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、経営環境の変化等により、予告なしに変更される可能性があります。また、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。

掲載の内容については未監査の数値も含まれており、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報やその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料は投資家の皆様当社をご理解いただくことを目的として当社が作成したものであり、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。

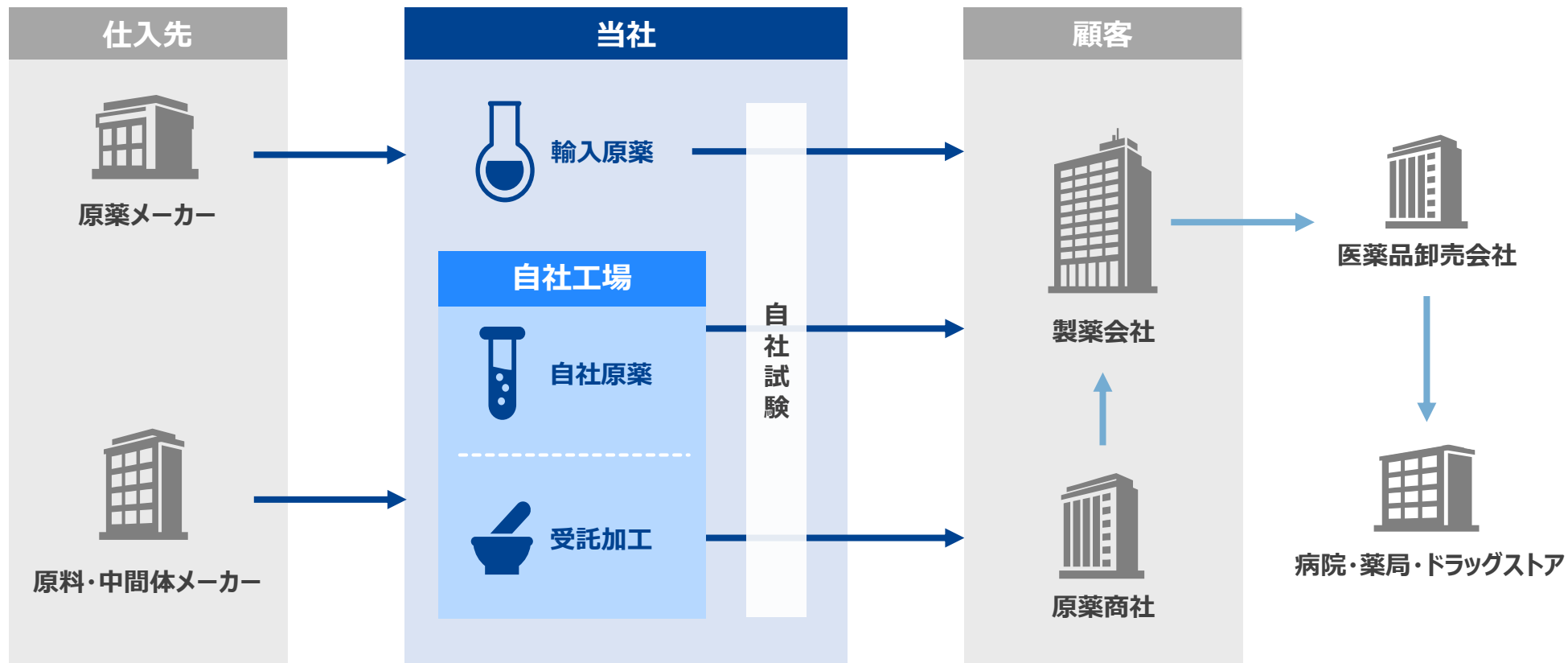
# 参考資料





- 明治期** 福岡県須恵町において「須恵目薬」の製造・販売開始
- 1917年** 福岡県直方市に「大洋製薬合資会社」を設立
- 1924年** 福岡市東区に移転『天洋社』と改称
- 1938年** 福岡市南区に移転。
- 1944年** 戦時企業整備（県内の製薬会社を1社にする制度）により会社を解散し、一時廃業
- 1947年** 戦後、「鉄ペプトン製薬有限会社」として再設立
- 1948年** 販売会社として、「株式会社天洋社」を再設立
- 1950年** 「株式会社天洋社」を「鉄ペプトン製薬有限会社」に合併し、社名を「天洋社薬品有限会社」とする。
- 1952年** 社名を「天洋社薬品工業株式会社」と改称
- 1971年** ムロマチグループに参入
- 1996年** 福岡県大牟田市に本社工場を新築移転
- 1998年** 『室町ケミカル株式会社』に社名変更
- 1999年** 医薬品第二工場を新設 ISO9001認証取得
- 2003年** 本社隣接地に物流倉庫新設
- 2005年** 『天洋社薬品株式会社』設立 東京支店開設
- 2006年** 健康食品製造工場操業開始  
表面処理工場操業開始
- 2009年** 新事務所竣工
- 2010年** コンパウンド工場操業開始 表面処理事業より撤退
- 2010年** 室町(上海)商貿有限公司設立
- 2011年** 第三医薬品工場新設 尿素水工場操業開始  
ムロマチテクノス株式会社より、つくば工場譲受
- 2013年** 新勝立倉庫竣工  
東京都千代田区神田駿河台に東京支店を移転
- 2014年** 『東進ケミカル株式会社』の全株式を取得し  
100%子会社化  
ムロマチテクノス株式会社を吸収合併
- 2016年** つくば工場にインキ接着剤工場を新設  
機能性樹脂コンパウンド事業より撤退  
大牟田本社に医薬品ゼリー工場を新設
- 2017年** 東進ケミカル株式会社を吸収合併  
大牟田本社に医薬品合成工場を新設
- 2018年** 天洋社薬品株式会社を吸収合併
- 2019年** 埼玉工場を閉鎖
- 2020年** 埼玉県和光市に埼玉開発センターを開設
- 2021年** 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)市場に上場

病院や薬局などで提供される医薬品は、有効成分となる「原薬」と様々な添加剤で出来ています。当社の医薬品事業では、この「原薬」の製造・販売を行っています。現在当社が取り扱っている原薬は、ジェネリック医薬品\*・医療用医薬品\*向けが主となっております。



\* ジェネリック医薬品(後発医薬品)

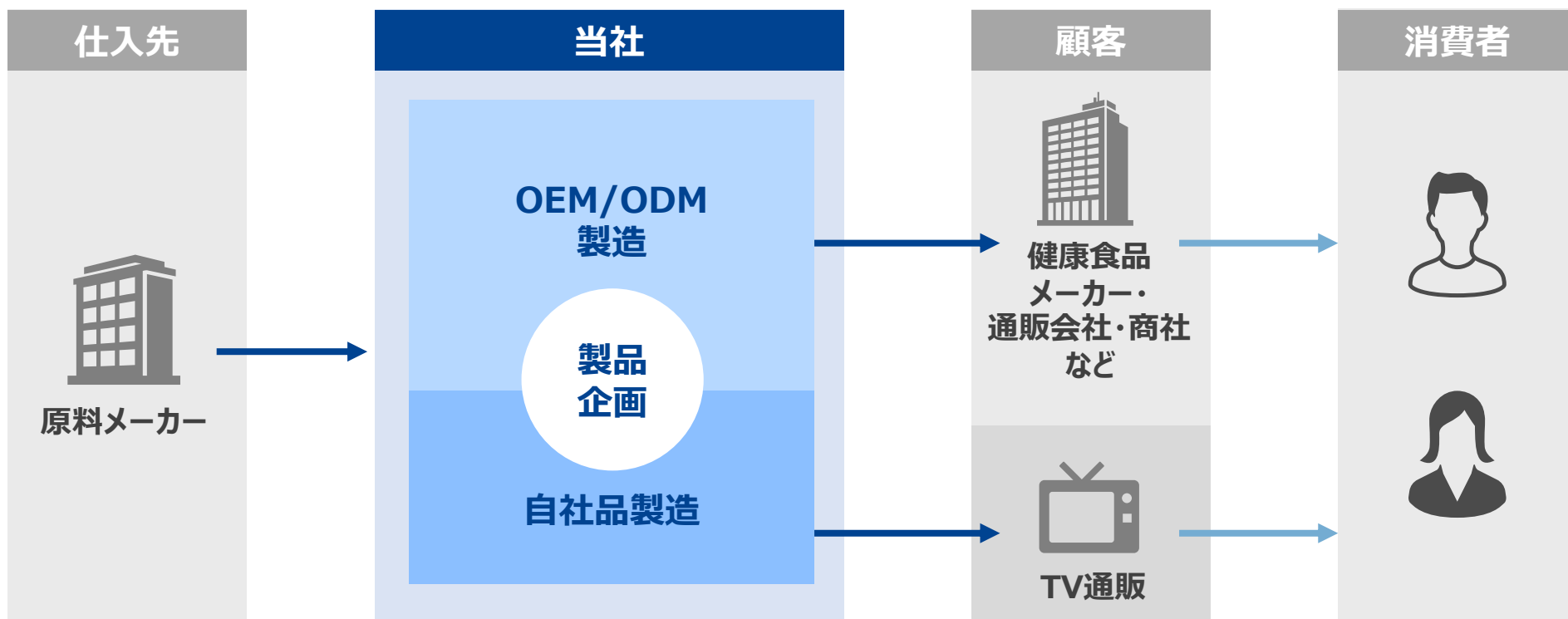
・・・新薬(先発医薬品)の特許が切れた後、同じ有効成分を使って製造される薬。新薬に比べ開発費用が抑えられるため低価格で提供される。

\* 医療用医薬品(医家向け医薬品)

・・・病院で医師の診断をもとに処方してもらう薬のこと。対して、薬局等で購入できる薬を一般用医薬品(OTC薬品、市販薬)という。

健康食品には、錠剤、カプセル、粉体、ドリンクなど様々な形態がありますが、当社は、「スティックゼリー」タイプの健康食品の企画・製造を行っています。現在は、OEM・ODM\*が主となっており、売上の8割を占めています。

スティックゼリーの健康食品は、おやつ感覚でおいしく、水が無くても摂取できる、携帯しやすい、などの特徴があります。



\* ODM (Original Design Manufacturing)

…発注元企業のブランド名で販売される製品の、製造のみを行うOEM (Original Equipment Manufacturing) に対し、ODMは企画や設計、製造までを行う。

液体処理に使用される「イオン交換樹脂」や「分離膜」を取り扱っています。目的に適した製品の提案をするほか、使用に適するよう加工も行います。

様々な業界の製造や開発の現場で使用される純水や軟水の製造、薬品の精製、排水の処理など、活用される場面は多岐にわたります。

他に、接着剤やペーストなど機能材料の加工や販売をおこなっています。

